



Press Information

VPR15-078

2015年10月5日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン 世界ラリー選手権(WRC)で今季 10 勝目を獲得

第 11 戦「ツール・ド・コルス」でラトバラ選手が今季 3 勝目



フォルクスワーゲンは、ラリー競技の最高峰「FIA 世界ラリー選手権(通称:WRC)」の 2015 年シーズン第 11 戦「ツール・ド・コルス」に市販車をベースとした 3 台の「ポロ R WRC」で参戦し、フィンランド人のヤリ-マティ ラトバラ選手が今季 3 度目となる優勝を果たしました。前戦でチャンピオンを獲得したフォルクスワーゲン・モータースポーツはさらに勝利数を伸ばし、今季 11 戦中 10 勝と、勝利を積み重ねています。また、ラトバラ選手は昨年アルザス地方で開催された「ラリー・フランス」に引き続き、2年連続でフランスラウンドを制しました。

2015 年 10 月 1 日(木)~10 月 4 日(日)にかけて開催された「ツール・ド・コルス」は、地中海に浮かぶコルシカ島を舞台に開催される伝統のターマック(舗装路)ラリーです。『1 万のコーナーを持つラリー』とも言われ、急峻な山岳路に設けられた競技区間(スペシャルステージ、通称:SS)は複雑に曲がりくねり、路面のグリップも一定ではありません。全 9SS、332.72km、総走行距離 983.80km で行われました。1 箇所あたりの SS 距離が非常に長いことも、今回のイベントの特徴と言えます。

開催期間中、舞台となるコルシカ島は一部の街で水害が出るほどの悪天候に見舞われ、競技初日となる 2 日(金)の SS2、翌 3 日(土)の SS4 がキャンセルとされるなど、ラリーにも影響がありました。雨に濡れた難しいコンディションのなか、王者として凱旋した地元フランスのセバスチャン オジェ選手は SS1 で貫録のトップタイムを記録。しかし SS3 でパンクに見舞われ、SS 中の交換を余儀なくされ上位から大きく遅れてしまいました。ラトバラ選手は 3 番手、ミケルセン選手は 7 番手でこの日を終え、翌日以降の挽回を誓います。2 日目に猛追を魅せたラトバラ選手は、わずか 2 秒差ながらライバルを逆転し総合首位に浮上、ミケルセン選手も総合 3 番手につけて 1-2 フィニッシュを狙います。

最終日の 4 日(日)に設定された SS は 3 箇所。ラトバラ選手はスパートをかけ、ライバルとの差を一気に広げました。さらにボーナスポイントのつく「パワーステージ」を 3 番手タイムで走り抜け、今季 3 勝目、自身通算 15 勝目を獲得しました。ミケルセン選手は追撃およばず僅差の 3 位、パワーステージでトップタイムを獲得したオジェ選手は 15 位ながら 3 点を追加してラリーを終えました。

次戦はターマックとグラベル(未舗装路)のミックス路面となる第 12 戦「ラリー・スペイン」です。10 月 22 日(木)~25 日(日)にかけて開催されます。ひとつのラリーで様々な路面を舞台とするため、ドライバーの順応性や対応力が求められます。引き続き「ポロ R WRC」の活躍にご期待下さい。

■フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: ヨースト カピート

「勝ったふたりは過酷な天気の中なかでも追い上げを見せ、適切なアタックをかけていきました。まさに勝利にふさわしい内容です。ほかのドライバーたちも素晴らしい走りを見せてくれました」

■カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果:総合 15 位

「パワーステージも制しましたし、ラリーの内容には満足しています。来年はフランスの国旗が一番高いところでなびくように全力を尽くしますが、今は勝ったふたりを心から祝福したいと思います」

■カー#2: ヤリ-マティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果:総合 1 位

「ツール・ド・コルスで優勝できて、最高の気分です。路面コンディションは簡単ではありませんでしたが、冷静を保つことに注意しました。この勝利を、私のヒーローであるヘンリ・トイボネンに捧げます」

■カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果:総合 3 位

「最後の最後まで 2 位の選手に追いつこうと必死で走りましたが、残念ながら時間が足りませんでした。今回のラリーでの自分のパフォーマンスには満足しています。今後もベストを尽くしていきます」

■ FIA 世界ラリー選手権 第 11 戦ツール・ド・コルス 最終結果

1.	ヤリ-マティ ラトバラ/ミーカ アンティラ(フォルクスワーゲン)	2 時間 39 分 46 秒 7
2.	エルフィン エバンス/ダニエル バリット(M スポーツ)	+43 秒 1
3.	アンドレアス ミケルセン/オーラ フローネ(フォルクスワーゲン)	+46 秒 3
15.	セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン)	+9 分 7 秒 3

■ FIA 世界ラリー選手権 マニュファクチャラーズ選手権ランキング(第 11 戦終了時点)

1.	フォルクスワーゲン・モータースポーツ	369
2.	シトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチーム	184
3.	ヒundai・モータースポーツ	183
4.	M スポーツ	170
5.	フォルクスワーゲン・モータースポーツ II	91
6.	ヒundai・モータースポーツ N	59
7.	ジポカー・チェコ・ナショナルチーム	45
8.	FWRT	9

■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(第 11 戦終了時点)

1.	セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン)	238
2.	ヤリ-マティ ラトバラ(フォルクスワーゲン)	160
3.	アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン)	126
4.	マッズ オストベルグ(シトロエン)	98
5.	ティエリー ヌービル(ヒundai)	86
6.	クリス ミーク(シトロエン)	83